



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

2月号 FEB 2016

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

27年産北海道産玉葱状況

単位:t

北海道玉葱計画 (ホクレン様)	取扱合計	生食	加工	輸出	年内進捗
27年産	599,090	399,520	181,570	18,000	64.5%
26年産	502,860	379,950	122,910	0	64.5%
25年産	410,880	312,720	98,160	0	64.1%

出典:ホクレン様資料より抜粋

27年北海道産は26年産産を大きく上回る出荷量。指標には初めて「輸出」の項目が。台湾や香港といったアジアを中心に今期18,000tの出荷計画となっている。年内進捗はほぼ計画通りで推移しており以降は計画出荷となる為、府県状況の出荷状況によっては春先に波乱の可能性あり。

28年産佐賀県内マルト契約先状況(27年10月時点)

	極早生	早生	中晩成	合計
28年計画	1,001	4,299	8,277	13,577
27年実績	973	2,649	7,092	10,715

病害、1月降雪の影響により極早生・早生玉葱が当初計画を大きく下回る予測。27年実績同様となる可能性もあり。

2016年産玉葱推移予測 ~今年も波乱??~

新しい年に入り1カ月が経過しました。今年もやはり天候異変をどう読むかが大変重要になると改めて実感しております。1月17日から18日にかけて関東地方は大雪に見舞われました。暖冬傾向の中での突然の大雪に交通機関でも大きな混乱が引き起こされました。また、1月25日の週には九州を中心に西日本でも大雪に見舞われ、各所で被害が出ています。野菜についても温暖傾向にあった中、突然の降雪・低温ということで様々な野菜で大きな被害が出ているようです。鹿児島島の春掘り馬鈴薯などは壊滅的状況という話も一部には出ているようです。これまで順調な出荷が続いていた野菜類ですが、ここに来て大きく方向が転換してしまったような気がします。

さて、玉葱については2016年産の契約条件等の話が進んでおります。特に昨年皆さまにご迷惑をおかけしました府県産玉葱の状況把握を中心に今期契約に向けて産地取組を行っております。現況としては昨年同様、産地の生育環境は非常に厳しいと言わざるを得ません。弊社主力の佐賀県産地は昨年同様病気が入っている上、先日の降雪の影響により今後の病害拡大の可能性が大きくなってきています。昨期の数量不足もあり、弊社契約先では計画13,000tの出荷に対し、契約要望としては各社より21,000tの事前申し込みがあったとのこと。極早生・早生種については今回の降雪の影響を受け確実に反収が減少する見込みです。計画13000tに対して昨期同様の10,000t割れの可能性が出てきました。弊社としましては、産地との情報共有を密にするとともに、折から取り組んでいる産地の分散化でのリスクヘッジを全力で進めて行きます。

また、上記状況の中でするので、今期府県期間はNZやタスマニアの輸入玉葱についても検討をしなければならない可能性もあります。現時点での府県契約確定については作柄が判明する3月までずれ込む可能性が大きくなってきました。様々な角度から昨年のように後手に回らないように、皆様に情報提供並びにご相談をさせて頂くこととなるかと思えます。また、今期北海道産も終盤に入り残数も見えてきました。ホクレン様加工契約進捗率は年内で64.5%の消化となっています。府県産の早出し玉葱の出来いかなでは現在の玉葱流通環境も一気にひっくり返るような状況です。

昨年の反省を活かし、お客様への安定した供給を実現するために最大限努めて参ります。今期は早期の動きがキーとなりますので何卒ご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

きたみらい玉葱振興会様 市場協議会2016に参加しました！



営業の中村です。1月14日(木)真冬の北海道、北見市で開かれた「きたみらい玉葱振興会 市場協議会」に招待いただき、30分ほどの講演をするお時間をいただきました。

名実ともに日本一の産地であるこの地で、また市場関係者様や生産者様、約150名の前で、緊張は最高潮。

①玉葱加工業務の現況②生産者の皆様への「想い」を伝えてまいりました。

加工業界は人材不足、高齢化が進む中で高コストな派遣社員に頼ることが多くなりました。一方で異物混入対策への設備投資、管理業務は増えており、企業として当然のことではありますが、商品レベルは上げていかなければなりません。その一助を生産者の皆様へお願いしてまいりました。

我々は、いただいた最高品質の玉ねぎの品質を「上げる」ことはできませんが、「下げる」ことは容易です。いかに品質を落とさずにエンドユーザー様へお届けするかを探求し続け、良い商品をお届けいたします。

壇上で手足の震えは止まりませんでした。良い経験となり、またこんな機会をいただけたらと思います。

営業中村のマルチ便PLUS！Ver2016

2月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	北海道産の入荷、品質は引き続き順調です。中心品種は「北もみじ2000」で、年内の中心品種「オホーツク222」よりも今季は一回り小さい玉流れのようです。オホーツク222の残りも多少ありますが、品質は多少落ちており、極まれではあります。芽が動いている様子もあります。その他「イコル」などの品種も入っておりますが、北もみじ2000よりも品質劣化は早いと思われるので前倒しの消化をします。
中国	甘粛省産玉葱は、一時期の急騰からは落ち着きを見せております。品質は良好で特大の#Lサイズも多く入荷しております。(少し大きすぎるような...) 後続の雲南省の作付は例年並み、生育も順調とのことでしたが、最近日本でも大きな影響を及ぼした大寒波が中国内にも悪影響を及ぼしており、作柄が心配です。
アメリカ(黄玉、赤玉)	アメリカ産玉葱の品質も順調です。3月中旬頃までの使用を予定しておりますが、品質はまずまず、終盤の品質といったところです。赤玉葱に関しては、若干ではありますがりん片、1枚目～3枚目の部分に茶色変色が見受けられます。丁寧にトリミングをして、お届けいたします。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315

2016年2月 マルト便 株式会社マルト商事 〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井624-3